

作成日 2023年8月18日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名 : 2%デオキシコール酸ナトリウム水溶液

会社情報

会社名 : 株式会社スギヤマゲン
住所 : 〒113-0033 東京都文京区本郷 2-34-9
電話番号 : 03-3814-0285
FAX番号 : 03-3815-3045
メールアドレス : mail@sugiyama-gen.co.jp

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性 : 区分外
健康に対する有害性 : 急性毒性(経口) 区分 4
絵表示



注意喚起語 : 警告
危険有害性情報 : 飲み込むと有害

注意書き

安全対策 : この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしない。
取り扱い後は良く手を洗う。
救急処置 : 飲み込んだ場合、口をすすぐ。気分が悪いときは医師の処置を受ける。
廃棄 : 内容物および容器は関連法令に基づき適切に廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS RN
			化審法	安衛法	
デオキシコール酸ナトリウム	2.0	$(\text{OH})_2\text{C}_{23}\text{H}_{37}\text{COONa}$	設定されていない	7-(1)-318	302-95-4

4. 応急措置

応急措置

- 吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流す。
- 眼に入った場合 : 直ちに流水で十分に洗い流す。
- 飲み込んだ場合 : 直ちに水または食塩水を飲ませて吐かせる。必要に応じて医師の処置を受ける。

5. 火災時の措置

応急措置

- 適切な消火剤 : 水、粉末・二酸化炭素、乾燥砂、泡
- 使ってはならない消火剤 : 特になし
- 特定の消火方法 : 速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項・保護具及び緊急時措置 : 作業の際は適切な保護具を着用し、漏洩した液が皮膚に付着したり、蒸気を吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。漏洩した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川などに排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。
- 封じ込め方法 : 漏洩した液は、できるだけ空容器に回収する。漏洩した場所は希酸を散布して中和した後、水で十分に洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 皮膚に付いたり、蒸気を吸入しないように必要に応じて適切な保護具を着用する。
- 注意事項 : みだりにエアロゾルが発生しないよう取扱う。

保管

- 適切な保管条件 : 容器は密栓して保管する。
- 安全な容器包装材料 : ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレンなど

8. 曝露防止及び保護措置

設備対策	:	取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。
管理濃度	:	設定されていない。
許容濃度	:	
日本産業衛生学会（2009年版）	:	設定されていない。
ACGIH（2009年版）	:	設定されていない。
保護具	:	
呼吸用保護具	:	必要に応じて防じんマスクを着用する
手の保護具	:	不浸透性保護手袋
眼の保護具	:	ゴーグル型保護眼鏡

9. 物理的及び化学的性質

形状	:	液体
色	:	無色
臭い	:	無臭
pH	:	7.5 - 9.0 (20g/L, 20°C)
融点	:	データなし
凝固点	:	データなし
沸点	:	データなし
引火点	:	データなし
密度	:	データなし
相対ガス密度	:	データなし
溶解度	:	水：25% (20°C) 有機溶媒：エタノール、ジエチルエーテルに難溶

10. 安全性および反応性

安定性	:	通常条件で安定。
反応性	:	強酸化剤と接触すると反応することがある。
避けるべき条件	:	日光、熱
混触危険物質	:	酸化剤
危険有害な分解生成物	:	一酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性	:	飲み込むと有害（区分4） 経皮：分類できない。
------	---	----------------------------

吸入（蒸気・粉塵・ミスト）：分類できない。

経口：1370 mg/kg（ラット）、1400 mg/kg（マウス）

皮膚腐食性／刺激性：区分外（皮膚に対する刺激性は少ないため、区分外とした。）

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：分類できない。

呼吸器感作性：分類できない。

皮膚感作性：分類できない。

生殖細胞変異原性：分類できない。

発がん性：分類できない。

生殖毒性：分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：分類できない。

吸引性呼吸器有害性：分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性：水生環境有害性 短期（急性）・・・分類できない

水生環境有害性 長期（慢性）・・・分類できない

残留性／分解性：データなし。

生体蓄積性：データなし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：多量の水で希釈した後下水に流す。または、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。

汚染容器及び包装：空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に地域、国、現地の適切な法律、規制に則り処分する。

14. 輸送上の注意

ADR/RID（陸上） 規制されていない

国連番号：—

品名：

国連分類：

容器等級：

海洋汚染物質：非該当

IMDG（海上） 規制されていない

国連番号：—

品名：

国連分類：

容器等級：

海洋汚染物質 : 非該当
MARPOL73/78 や IBC コードに則ったバルクの輸送 : 利用可能な情報はない
IATA(航空) 規制されていない
国連番号 : —
品名 :
国連分類 :
容器等級 :
海洋汚染物質 : 非該当

15. 適用法令

国際インベントリー

EINECS/ELINCS : 収載
TSCA : 収載

国内法規

消防法 : 非該当
毒物及び劇物取締法 : 非該当
労働安全衛生法 : 非該当
危険物船舶運送及び貯蔵規則 : 非該当
航空法 : 非該当
化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法) : 非該当
輸出貿易管理令 : 非該当

16. その他の情報

参考文献 : NITE: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構
<http://www.safe.nite.go.jp/japan/db.html>
IATA 危険物規則書
RTECS: Registry of Toxic Effects of Chemical Substances
中央労働災害防止協会 GHS モデル SDS 情報
有機合成化学辞典 (社) 有機合成化学協会講談社サイエンティフィック
化学大辞典共立出版
等
当該安全データシート 2023-8-18
の最新修訂日付
SDS 版 改訂 0

免責事項

この SDS は JIS Z 7253:2019 に準拠しております。記載内容は通常取扱を対象としたものであって他の

物質と組み合わせるなど特殊な取扱いをする場合は使用環境に適した安全対策を実施の上ご利用ください。改訂日における最新の情報に基づいて作成されておりますが、すべての情報を網羅しているものではありませんので新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。また、安全な取扱い等に関する情報提供を目的としておりますので物性値や危険有害性情報などは製品規格書等とは異なりいかなる保証をなすものではありません。全ての製品にはまだ知られていない危険性を有する可能性がございますので取り扱いには十分ご注意ください。

GHS 分類は JIS Z7252(2019)に準拠している。*JIS: 日本産業規格